

#39

## ユースホステル職員

## いろいろな価値観に触れる



今回のゲストはユースホステル職員ちかだ としふみの近田年史さんです。ユースホステルは世界に約3,600ある宿泊施設のネットワークで、旅人たちに安くて安全な宿を提供しています。近田さんはスタッフとして、日本や世界の各地から訪れる人々と交流したり、地域の人たちも巻き込んでイベントを行ったりしています。いろんな文化や価値観に触れることができるのがユースホステルの醍醐味だと言う近田さんに、この仕事のやりがいや楽しさを伺います。

MC・リポーター  
米野真織

## ユースホステル職員の仕事とは

予約受付やチェックイン、チェックアウトの手続き、食事や風呂の準備や片づけ、掃除など、宿泊に関する仕事全般を行います。また、宿泊者と積極的に交流し、観光のアドバイスをしたりもします。ツアーやイベントなどを企画することもあります。

## ユースホステルで働くためには

ユースホステルでは、職員、アルバイトなどさまざまな立場の人が働いています。近田さんは大阪ユースホステル協会に就職し、協会直営のユースホステルで働いています。各地のユースホステル協会や各ユースホステルがどんな求人を出しているか、協会のHPなどで調べることができます。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。



### ユースホステル職員 近田年史さんに聞きました！

**米野**：そもそもユースホステルって、どんな施設なんですか？

**近田**：もともとは1909年にドイツで始まった、宿泊施設の国際的なネットワークです。若い方に世界中を安心して旅することができる宿泊場所を提供しようってところから始まったものなんですけれど、現状で国内に150施設、世界中合わせると約3,600程度の施設が今も運営しています。

**米野**：ホテルや旅館とはどういったところが違うんですか？

**近田**：いろいろなユースホステルがあるんですけど、特に違うところは、まず部屋自体が男女別の相部屋になっているところがほとんどです。あとは青少年の育成という目的もあるので食事の配膳とか片づけなども含めて、セルフサービスのところが多くて、その分、宿泊費が安く泊まっていただけます。

**米野**：ユースホステルの雰囲気はどういった感じなんですか？

**近田**：ゲストの方との交流をすごく大切にしているので、昔は「ミーティング」と言って施設のスタッフさんがギターを弾いたりしてみんなで歌を歌ったり、ゲームをしたりっていうことが盛んに行われてたりしていました。今は僕たちスタッフとゲストの方が、よりカジュアルな感じで親しく話をしたりとか、ゲストの方どうしの話をスタッフが取り持ったりとか、旅の情報交換をしたりっていうこともよくあります。

**米野**：人と人をつなげる役割もあるってことですね。

**近田**：そうですね、はい。特に大切だと思っています。

**米野**：すてきな空間ですね。基本的には若い方限定の施設なんですか？

**近田**：もちろん若い方が主に対象っていうことはあるんですけど、シニアの方から、逆に中学生の方も泊まりに来られたりもしますし、今はこういう状況（新型コロナの感染拡大）で少ないんですけど、外国人の方も非常に多いです。

#### さまざまな文化に触れる

**米野**：近田さんはユースホステルで働き始めてどれくらいになるんですか？

**近田**：はい、13年になります。

**米野**：スタッフの方は皆さん職員になられるんですか？

**近田**：そうですね。職員もいるんですけど、それ以外にも、パートさん、アルバイトさんもおられますし、あとはボランティアさんなどもいらっしゃいますね。

**米野**：ちなみに近田さんはユースホステルの職員ですよね？

**近田**：そうですね。私は大阪のユースホステル協会の職員です。大阪には「新大阪ユースホステル」とか「大阪国際ユースホステル」とか、ユースホステルがいくつかあるんですけど、それを管理してるのが（大阪）ユースホステル協会っていうことになります。

**米野**：具体的にはどういったお仕事をされるんですか？

**近田**：まずゲストの宿泊の手続きとか予約の受付等もありますし、あとはイベントの企画とか、実施ってこともしますし、今私自身は経理とか広報の担当もしてます。あとはチーフという立場にもなるので他のスタッフの育成も今はしています。

**米野**：ユースホステルは交流を大切にするというお話でしたが、どんなふうにゲストに接しているんですか？

**近田**：そうですね。実際「今日どこどこ行ってきました」という話をいろいろ聞いて、それによってまた別の方に対してもそういう話をつないだりとか。そういうような接し方を特に大切にしています。

**米野**：お勧めのスポットを紹介したりとかもされるんですかね？

**近田**：そうですね。特に外国人の方で、昔はすごく多かったんですけど、本当にノープランでチェックインにこられて、「今日一日、何したらいい？」っていうような質問されることもよくありました。その人と一緒に、「じゃあ一体何に興味があるのか」とか、「どういったことがしたいのか」というのを聞きながら、いろいろな観光ポイントをお勧めしたりとかっていうことをよくしてます。

**米野**：友達と一緒にプランを考えてみたい楽しさがありそうですね。

**近田**：はい、そうですね。そういうことをしていると周りのゲストの方も、話したい人がどんどん会話に入ってきてくださって、そこでまたゲストの方どうしても、スタッフは離れても、夜中ずーっと話をされたりっていうこともよくあります。そこで交流することで初めて知らないこととか、お互いの文化とかに触れることができると思うので、そういうところがユースホステルのだいたい味かなと思います。

**米野**：大阪のユースホステルの特徴ってあるんですか？

**近田**：そうですね。大阪のユースホステルは、空港から入国した外国人の方が初めて泊まる宿になったりとか、あとは帰るときに最後の夜に泊まる宿になることが多いですね。

**米野**：そこから皆さん日本のまた違う地域に行かれたりするってことですかね。

**近田**：そうですね。なので、日本各地のいろいろな観光情報とかを知っていると、紹介できるスポットとかもどんどん増えていきますし、スタッフそれぞれ、知識、得意分野があるので、その人の個性が出るかなって思います。

**米野**：ちなみに近田さんの得意分野って何ですか？

**近田**：そうですね。僕は自転車旅行がすごく好きなので、自転車と……あとは食べ物ですかね。僕自身ももともと自転車が特に好きだったっていう訳じゃないんですけど、自転車で旅に来られるゲストの方が多かったりしたんで、そういう人に話をいろいろ聞いてるうちに、僕自身もそれで自転車にハマったんですけども。

**米野**：へー、お客様の影響なんですね。

**近田**：そうですね。

**米野**：いろいろ文化や価値観を取り入れられる、すごくすてきな職場ですよ。

**近田**：そうですね、本当にいろいろな人の趣味とか、いろいろな人の話を聞くことによって、自分の中でどんどん好きなこととか、大切にしないといけないこととかが、どんどん変わって来て、本当に自分の価値観っていうのが上書きされていくような感覚があります。

ゲストに怒られて学んだこと

**米野**：近田さんはもともとユースホステルの利用者だったんですか？

**近田**：いや違います。

**米野**：旅行がお好きだったとか。

**近田**：……というわけでも特になかったんですけど。

**米野**：どうして今のお仕事をされるようになったんですか？

**近田**：そうですね、もともと大学生のときに障害者福祉の勉強をしていて、それで障害者の方との野外活動を2年間くらいやってたんです。そのときの人たちと一緒に初めて外国に行ってみようっていうことになって、行ったのがオーストラリア旅行だったんですね。

**米野**：じゃあその旅行をきっかけに、まず旅行の楽しさを知ったっていう感じですか？

**近田**：そうですね。もう海外旅行っていうのが初めてだったので、本当に自分の目に映るものがすべて新鮮で。外国人の方も初めてそのときに見ましたし、外国のスーパーとかで陳列されてる商品とかも、全部日本とは違うように見えて、本当に新鮮で楽しかったという思い出ですね。

**米野**：ユースホステルで働くきっかけになったことってあるんですか？

**近田**：ちょうど就職活動をしているときに、その野外のキャンプと一緒にしている大学の先生からユースホステルの仕事を紹介されて、それでおもしろそうだな。っていうふうに思って、この業界に入って来ました。

**米野**：ちなみにお仕事をして失敗したって思ったことってありますか？

**近田**：そうですね。本当にいっぱいあるんですけど、特に「うーん、失敗したなあ」っていうのは……ゲストとの方とのかかわり方っていうのは、いつも自分の中では試行錯誤しているところなんですけれど、本当にもっと若かったころに年配のゲストの方に対して、言葉づかいがちょっとあまりにもカジュアルすぎて「失礼だよ」って怒られたこともありました。

**米野**：それは日本人のゲストの方ですか？

**近田**：そうですね、はい。

**米野**：難しいですね、バランスが。

**近田**：そうですね、若いころは逆に本当に怖いもの知らずだったので、もうどんどんどんどん砕けたような感じになってしまってたんで、ほんとうにそのときは怒られてよかったなっていう風に今は思ってます。

忘れられないイベント

**米野**：近田さんが仕事をしていて印象深かったできごとはありませんか？

**近田**：そうですね。一昨年（2019年）に行ったイベントなんですけれど、9月にチャリティーウィークっていうのをして「Sleep for Peaceユースホステルから旅を贈ろう」と銘打って、宿泊した方の宿泊料から250円ずつを寄付に回らせて頂きました。そのお金を使って

12月にひとり親家庭の親子を20組、宿泊に招待したっていうイベントですね。

**米野**：そういうこともされてるんですね。

**近田**：そうですね。イベントは本当にいろいろなことをやっていて。教育的なイベントから、福祉とか、あとは地域交流につながるようなイベントもやっています。

**米野**：そのときはどんなイベントだったんですか？

**近田**：そうですね、屋外にバーベキュー場があるんですけど、そこで親子と一緒にシチューを作ったりとか、あとは12月だったので松ぼっくりでクリスマスツリーを作ったりというようなことをしたんですけど。特に盛り上がったのはフィンランドのサンタクロースとオンラインで通信をしたことですね。

**米野**：え！ オンラインでサンタさんと会える？

**近田**：そうです。本物のサンタさんってというのは、すごくよかったですね。皆さんにはサプライズでやったので、本当に子どもも親たちもビックリしてすごく喜んでくれてましたね。

**米野**：いや～お子さんたちは相当喜びますよね。

**近田**：質問コーナーをしたんですけども、みんな手を挙げていろいろな質問をしてくれました。「どうやってこう空を飛ぶんですか？」とか「いつまでプレゼントもらえますかか？」「クリスマス以外のときは何をしてるんですか？」とか。

**米野**：えー！ それ私も興味あります。

**近田**：本当に子どもたちもすごくもう楽しそうで、目もキラキラしていろいろな質問してくれました。

**米野**：そういったイベントができるのもユースホステルの特徴なんですか？

**近田**：そうですね。Sleep for Peaceっていうのは、世界約80の国と地域でSDGsに関連するイベントを行ってるんですけど、日本ではひとり親家庭の支援事業として行いました。宿泊施設があって青少年の育成っていうのを掲げているユースホステルだからこそ、こういう地域の人たちとつながる企画ができたのかなって思っています。

### いろいろな価値観があるのが楽しい

**米野**：近田さんが仕事をしている中で好きな音ってありますか？

**近田**：そうですね……音。例えばゲストの方がスーツケース引いてきて、ガラガラっていう音とか、あとはゲストの方が話して、こう、机たたいて笑ってるとか、そういう音とかが特に好きかなと思います。そういう音を聞いてると、自分たちの働きかけがうまくいってるんだなあっていう気持ちになりますね。

**米野**：近田さんはこれからさらにどんなお仕事をしていきたいですか？



このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

**近田**：そうですね。自分たち以外の、例えば自治体とか企業さんとか、あとはNPOさんとか、いろいろな地域の方たちと連携しながら、ユースホステルならではの役割を果たして行きたいというふうに思っています。

**米野**：個人的には夢ってありますか？

**近田**：そうですね。やっぱり自分の趣味とユースホステルっていうのをつないでみたいって思ってます。

**米野**：近田さんの趣味ってなんですか？

**近田**：今はジムトレーニングですね。もうすぐ運動施設が充実しているユースホステルに異動することになるので、そういうところで何かできないかなっていうふうに思ってます。

**米野**：じゃあ近い将来実現しそうですね。

**近田**：そうですね。そうなってくれると本当にうれしいですね。

**米野**：例えば運動（施設）が充実しているユースホステルとか、そういったいろいろな特徴があるユースホステルがあるんですか？

**近田**：そうですね。本当に世界でも日本でも個性的なユースホステルっていうのはいっぱいあって、ユースホステルの責任者の方の趣味とか個性っていうのが発揮されてると思います。漫画だらけのユースホステルとか、自転車にすごく力を入れてるとか、あとは鉄道が大好きな人とか、そういういろいろな価値観っていうのがあって、同じユースホステルっていう組織でもそういう違いを楽しむっていうのが楽しいところだなっていうふうに思います。

**米野**：「今いちばん熱いな」っていうユースホステルはありますか？

**近田**：そうですね。船のユースホステルがスウェーデンにあるんですけど、それが自分の中ではいちばん熱いな、行きたいなって思ってます。

**米野**：船に泊まれる？！

**近田**：そうです。

**米野**：楽しそうですね！

**近田**：あとはそうですね、ジャンボジェット……飛行機のユースホステルもあります。

**米野**：へー！ 本当にいろんな在り方があるんですね。

**近田**：なので、国も地域もそうですけれど、どこに行っても全く同じっていうのはないので、そういうところを楽しんでもらいたいです。

★あなたが旅をしたら、どんな基準で宿泊する場所を選びますか？

.....  
.....  
.....

★あなたがユースホステルのスタッフだったら、宿泊者に旅を楽しんでもらうためにどんな工夫をしますか？

.....  
.....  
.....

★ユースホステルの職員以外に、旅に関する仕事にはどんなものがありますか？

.....  
.....  
.....

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....